

平成15年度春期 情報処理技術者試験

## システム監査技術者 所見

全体として、「システム監査」を柱に、専門知識を普段から着実に学習しているかどうかの成果が問われる出題であった。システム監査の専門知識を核にしながら、情報システムのライフサイクルに関する総合的知識が要求された。

### 【午 前】

専門(監査)分野については、ほとんどが過去に出題された、監査基準や監査証跡、監査人の判断、などに関する基本的な問題であった。共通分野については、「セキュリティと標準化」分野の問題に若干難しい問題が出題された。また、例年になく、同時実施試験区分(DB, SM)との共通出題が多く、全体としての難易度は低いと思われる。

### 【午 後】

システム監査のケーススタディの問題である。各問題とも分量が多く、レベルも高かった。ケーススタディの文章を短時間で読み取って、文章の中から解答を見つけ出すには、相当量の知識が必要である。事前に学習を通して、システム監査の専門知識を体系的に獲得しておくことが求められる。特に、コントロールに関する理解が不可欠である。今回は、セキュリティがとり上げられなかった。

- 問1 データセンタの運用について行ったシステム監査
- 問2 システム開発過程のシステム監査
- 問3 卸業の販売管理
- 問4 システムのSLA(サービスレベル合意書)

### 【午 後】

専門知識で文章を書く論文問題である。テーマと要求事項のレベルが上がっているため、相当豊富で高度な専門知識を学習していないと、解答を埋められない。論文問題は、問題要求にダイレクトに答える解答方式である。今回は、ますます、雑誌や専門書を通しての普段からの学習の成果が問われる問題であった。

- 問1 ソフトウェアパッケージの導入に伴うシステム監査
- 問2 事業継続計画(ビジネスコンティニュイティプラン)の監査
- 問3 情報セキュリティマネジメントシステムにおけるシステム監査

以上